

第1章 令和6年度決算総括

1 決算の概要

令和6年度の我が国の経済は、緩やかな回復を続けて成長と分配の好循環は動き始めているものの、長きにわたったコストカット型経済から脱却し、デフレに後戻りせず、「賃上げと投資がけん引する成長型経済」に移行できるかどうかの分岐点にあります。

こうした状況のなか、令和6年度は、本市の最上位計画である「第6次江南市総合計画」の後期基本計画の初年度となることから、この計画に基づき、将来像に掲げた「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市」の実現に向け、人口減少社会を見据えたうえで、財源を確保しながら、「まちづくり分野」、「ひとづくり分野」、「しごとづくり分野」、「ちいきづくり分野」、「行政分野」の5つの分野において各施策の推進を図りました。

一般会計については、当初予算額 318 億 801 万 3 千円で、前年度当初予算額 294 億 3,615 万 5 千円と比較して 23 億 7,185 万 8 千円の増(+8.1%)となりました。また、補正予算は、8 回編成し、総額 37 億 5,302 万 1 千円を増額、これに令和5年度からの繰越明許費及び継続費通次繰越の繰越額 5 億 3,301 万 1 千円を加えて、最終予算額は 360 億 9,404 万 5 千円となりました。この額は、前年度最終予算額である 343 億 2,348 万 7 千円と比較しますと、17 億 7,055 万 8 千円の増(+5.2%)となりました。

決算においては、歳入 352 億 8,037 万 6 千円(+5.3%)、歳出 336 億 6,758 万 7 千円(+4.1%)となり、歳入歳出差引額は 16 億 1,278 万 9 千円です。この額から翌年度へ繰越すべき財源 1 億 201 万 6 千円を控除した実質収支額は 15 億 1,077 万 3 千円となり、本年度実質収支額から前年度実質収支額 10 億 4,017 万 6 千円を差し引いた単年度収支額は、4 億 7,059 万 7 千円となりました。また、財政調整基金へ 5 億 2,213 万 8 千円を積み立て、1 億 6,593 万 3 千円を取り崩したことにより、実質単年度収支額は、8 億 2,680 万 2 千円となりました。

特別会計については、当初予算額 195 億 7,079 万 8 千円で、前年度当初予算額 189 億 9,643 万 8 千円と比較して 5 億 7,436 万円の増(+3.0%)となりました。また、補正予算は、12 回編成し、総額 4 億 4,979 万 1 千円を増額し、最終予算額は 200 億 2,058 万 9 千円となりました。この額は、前年度最終予算額である 194 億 9,311 万 3 千円と比較しますと、5 億 2,747 万 6 千円の増(+2.7%)となりました。

決算においては、歳入 190 億 9,992 万 9 千円(+1.6%)、歳出 187 億 9,938 万 1 千円(+2.5%)となり、歳入歳出差引額及び実質収支額は 3 億 54 万 8 千円です。本年度実質収支額から前年度実質収支額 4 億 5,893 万 4 千円を差し引いた単年度収支額は、マイナス 1 億 5,838 万 6 千円となりました。

歳入面では、定額による所得税の特別控除により個人市民税(所得割)が減収となったものの、法人市民税(法人税割)の増収などにより、市税全体では、前年度と比較して 584 万円の減収(△0.0%)、定額による所得税の特別控除の実施に伴う減収を補てんするなど、地方特例交付金が 4 億 5,910 万 8 千円の増収(+352.8%)、物価高騰対応重点支援地方創生臨時

交付金などにより、国庫支出金が 2 億 2,398 万 1 千円の増収(+3.8%)、市債が 1 億 9,160 万円の増収(+36.1%)となりました。地方交付税は、普通交付税が 8 億 196 万 7 千円の増収(+20.2%)、特別交付税が 1,046 万 7 千円の減収(△3.1%)となり、歳入全体では、17 億 7,489 万 1 千円の増収(+5.3%)となっています。

歳出面では、エネルギーや食料品価格などの価格高騰の影響により、生活への負担感が大きい低所得世帯等に対する物価高騰対応重点支援給付金事業などを実施しました。

また、全体事業として、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の保全に関しては、小学校や中学校、学習等供用施設照明器具の LED 化、保育園や市民文化会館などの長寿命化を実施し、また、今後の公共施設の改修・更新等に係る財政負担の平準化を図るため、公共施設整備事業基金に 3 億 5,224 万 9 千円を積み立てました。

まちづくり分野では、江南駅周辺交通環境改善計画の策定に向けた関係機関協議、雨水貯留施設設置における浸水被害軽減対策などの事業を実施しました。

ひとづくり分野では、新学校給食センターの建設、(仮称)多世代交流プラザの建設、市立保育園の統合・民営化に伴う施設整備費の補助などの事業を実施しました。

しごとづくり分野では、曾本地区工業用地の整備の推進などの事業を実施しました。

ちいきづくり分野では、防犯カメラ設置に対する補助金の交付、福祉タクシーの迎車回送料金を新たに助成するなどの事業を実施しました。

行政分野では、市制 70 周年記念事業、書かない、並ばない窓口の推進などの事業を実施しました。

今後も、景気の動向や社会経済情勢の変化を注視しつつ、積極的な財源確保に努めるとともに、限られた財源の中で、新たな政策課題や市民・地域のニーズ等に的確に対応するため、事業の必要性、有効性、効率性を検証し、創意工夫を凝らしながら、事業の取捨選択を実施し、「財政健全化」と「市民サービス確保」のバランスを取りながら行財政運営を進めていきます。

2 決算の総括表

歳 入

(単位:千円、%)

会 計 別		令和5年度	令和6年度	増減額	増減率
一 般 会 計		33,505,485	35,280,376	1,774,891	5.3
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	8,762,236	8,468,228	△ 294,008	△ 3.4
	土 地 区 画 整 理 事 業	43,174	98,909	55,735	129.1
	介 護 保 険	8,380,300	8,658,401	278,101	3.3
	後 期 高 齢 者 医 療	1,606,443	1,874,391	267,948	16.7
	小 計	18,792,153	19,099,929	307,776	1.6
合 計		52,297,638	54,380,305	2,082,667	4.0

歳 出

(単位:千円、%)

会 計 別		令和5年度	令和6年度	増減額	増減率
一 般 会 計		32,353,631	33,667,587	1,313,956	4.1
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	8,662,983	8,456,524	△ 206,459	△ 2.4
	土 地 区 画 整 理 事 業	43,174	98,909	55,735	129.1
	介 護 保 険	8,031,014	8,383,291	352,277	4.4
	後 期 高 齢 者 医 療	1,596,048	1,860,657	264,609	16.6
	小 計	18,333,219	18,799,381	466,162	2.5
合 計		50,686,850	52,466,968	1,780,118	3.5